

学力向上	豊かな 人間性の育成	健やかな 身体の育成
不登校児童 生徒支援	インクルーシブ 教育	食育の推進
学校・家庭・ 地域連携	その他	

事業名

校内サポートルーム（校内別室）整備推進事業

事業の経過・背景・課題

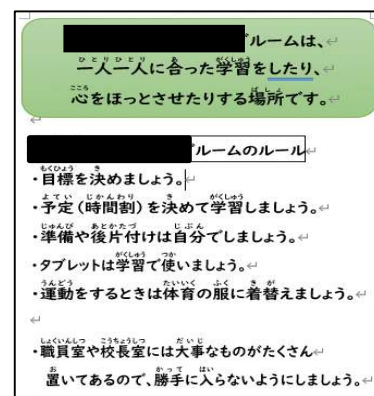
全国的に不登校児童生徒が増加する中、本市では、「京都市教育相談総合センター」での教育相談体制の充実  
はもとより、2校（洛風中学校・洛友中学校）の「学びの多様化学校（不登校特例校）」や教育支援センター「ふ  
れあいの杜」5学習室の設置（令和6年度から3サテライト学習室を開設）、フリースクールとの連携等、子どもたち  
の実態を踏まえた居場所づくりの取組を先進的に進めてきた。

こうした中、令和5年3月に文部科学省が策定した「COCOLOプラン」が示されたことも踏まえ、本市においても、  
登校を望んでいる児童生徒が新たな不登校にならないよう、校内に児童生徒が安心して過ごすことができる「校内サ  
ポートルーム」の整備が喫緊の課題となっている。

取組内容

交付実績額： 11,213 千円

- 子ども支援コーディネーター配置校において、校内サポートルームの充実に向けた取組を実施
- 子ども支援コーディネーター配置校を対象に、校内サポートルームの充実に向けたアンケート調査を実施
- アンケート調査の結果をもとに、校内サポートルーム設置から運営等に係る工夫等を集約した事例集を作成



事業の成果・今後の展望等

- ・児童生徒からは、「家にいるより楽しい。」「他の生徒の存在を気にせず落ち着いて過ごせる。」「調べ学習でパ  
ワーポイントを使ってサポートルームで発表できたのが良かった。」「受験に向けての作文の添削や面接練習を担  
任の先生とできたので良かった。」といった声があった。
- ・教職員からは、「子どもたちが自分のペースで登校や学習ができるので、表情が柔らかくなったり、教室にいるより  
口数が増えたりした。」「支援コーディネーターの〇〇先生と一緒に～したいという気持ちが子どもたちに出てきた  
など良い効果が表れてきている」といった声があった。
- ・各校において児童生徒の実態や支援体制を踏まえた取組が進んでいるところだが、本事例集を支援のヒントと  
して、取組の更なる充実を図る。

問い合わせ先

京都市教育委員会指導部生徒指導課（075-213-5622）